

学校運営協議会委員との懇談会（第1回） 実施後アンケート結果

教育総務課学校適正規模・適正配置推進室

1 調査概要

1. 調査の目的

小中学校適正規模・適正配置に関する学校運営協議会委員の考え方や意見等を収集し、今後の検討や計画の内容に反映させるために実施するもの。

2. 調査期間

令和8年7月23日(木)～8月19日(水)

3. 調査方法

学校運営協議会委員との懇談会実施後、各会場にて紙面で回答するもの

4. 調査対象

令和8年度学校運営協議会委員

5. 対象者数及び回答率

右図のとおり

区分	構成	対象者数 (委員数総)	回答数	回答率
渋川中区	渋川南小・豊秋小・渋川中	35	21	60.0%
渋川北中区	渋川北小・渋川西小・渋川北中	35	23	65.7%
金島中区	金島小・金島中	13	8	61.5%
古巻中区	古巻小・古巻中	15	10	66.7%
小野上小区	小野上小	12	5	41.7%
伊香保中区	伊香保小・伊香保中	13	3	23.1%
子持中区	中郷小・長尾小・子持中	37	27	73.0%
赤城南中区	三原田小・赤城南中	15	12	80.0%
赤城北中区	津久田小・赤城北中	13	10	76.9%
北橋中区	橋小・橋北小・北橋中	37	18	48.6%
合計		225	137	60.9%

※小野上小は子持中区とは別に懇談会を実施したため、子持中区とは別区分とした。

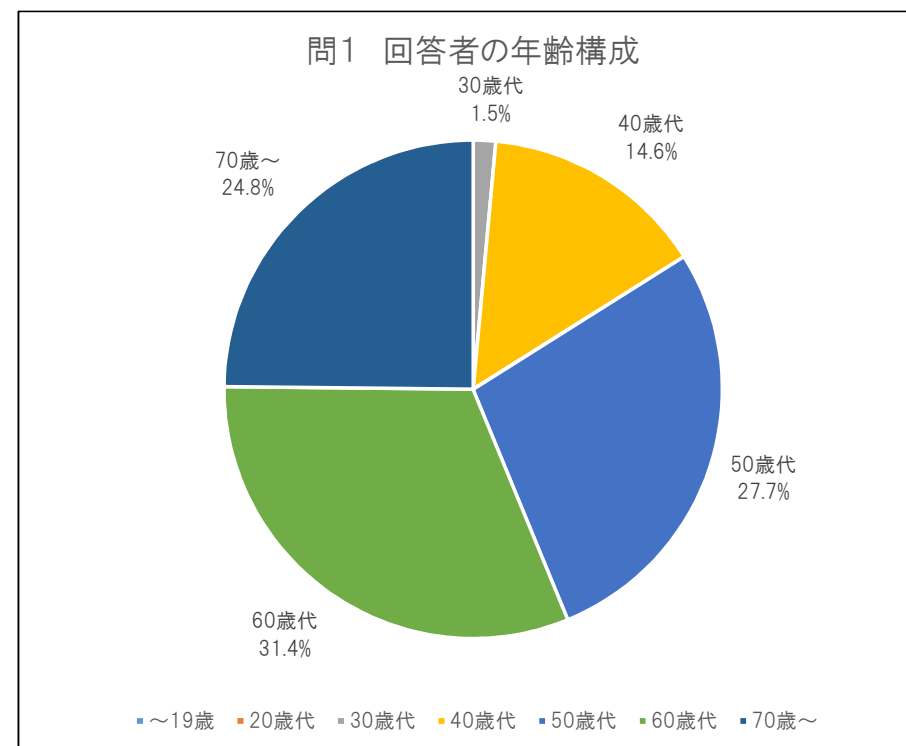
2 設問一覧

番号	設問	形式
問1	年齢について教えてください。	選択式
問2	お住まいの地域を教えてください。	選択式
問3	同居する家族について教えてください。	選択式
問4	「学校の適正規模・適正配置」は必要だと思いますか。	選択式
問5	Q4の回答の理由を教えてください。	自由記述
問6	問4で1、2または5を選んだ方に伺います。基本方針に基づいた学校の適正規模・適正配置の検討を進めるに当たり、より考慮した方が良い(より配慮した方が良い)と思うものを選んでください。	選択式 ※3つまで
問7	問4で1、2または5を選んだ方に伺います。学校の適正規模・適正配置の方策としてご自身の考えに近いものを選んでください。	選択式
問8	問7の回答の理由を教えてください。	自由記述
問9	その他にご意見などがあれば記入してください。	自由記述

3 調査結果

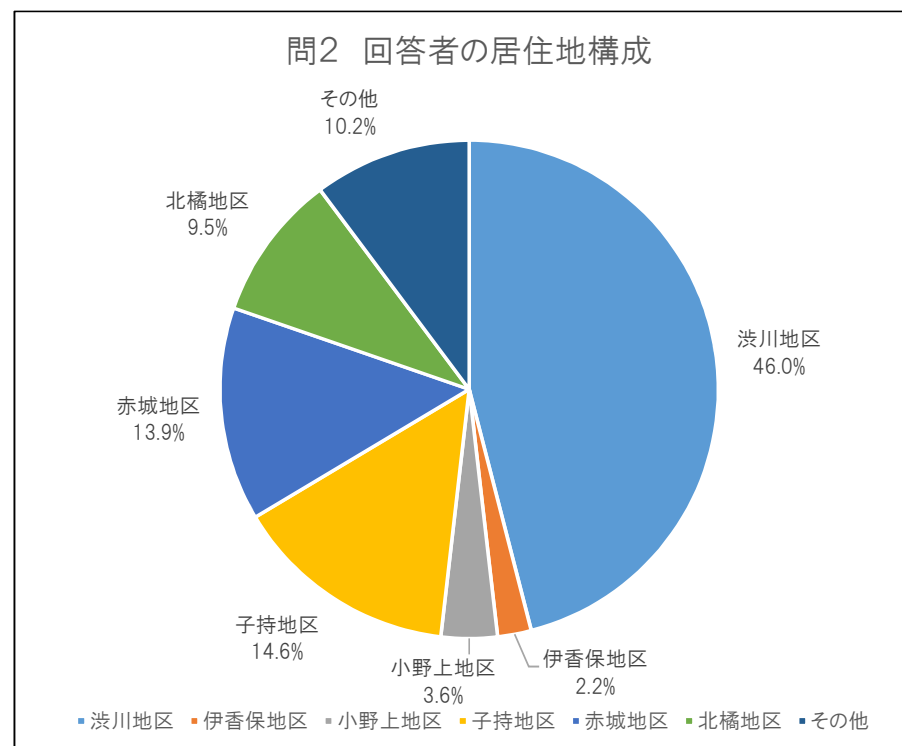
◆問1：年齢について教えてください【1つを選択】

区分	回答	構成比
～19歳	0	0.0%
20歳代	0	0.0%
30歳代	2	1.5%
40歳代	20	14.6%
50歳代	38	27.7%
60歳代	43	31.4%
70歳～	34	24.8%
計	137人	100.0%



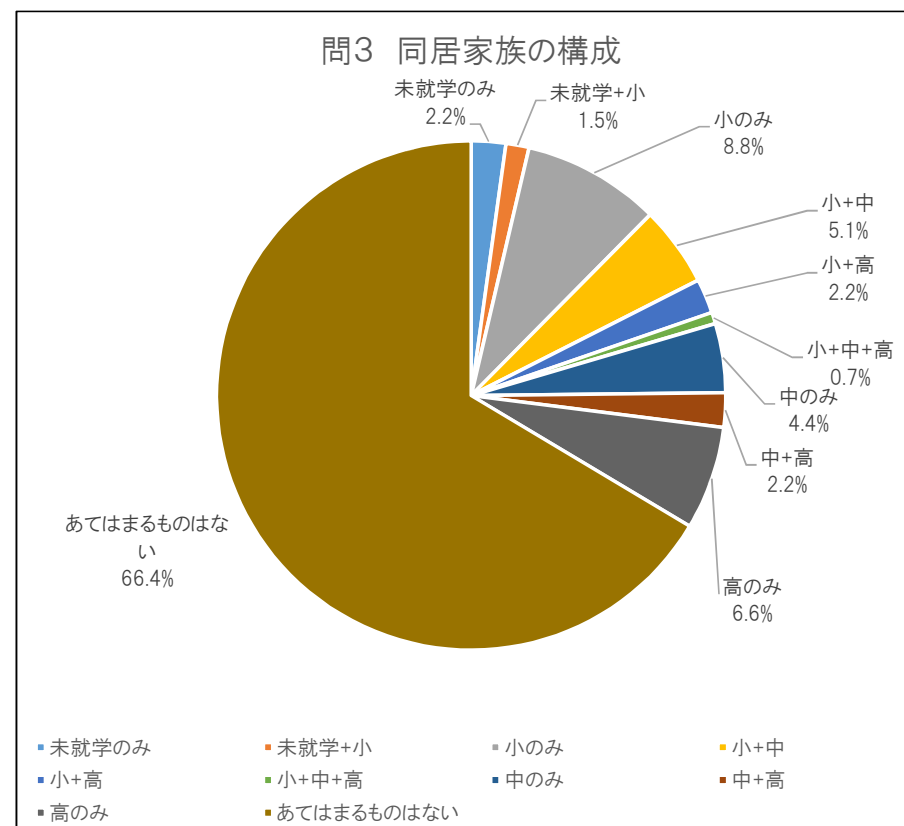
◆問2：お住まいの地域を教えてください【1つを選択】

区分	回答	構成比
渋川地区	63	46.0%
伊香保地区	3	2.2%
小野上地区	5	3.6%
子持地区	20	14.6%
赤城地区	19	13.9%
北橘地区	13	9.5%
その他	14	10.2%
計	137	100.0%



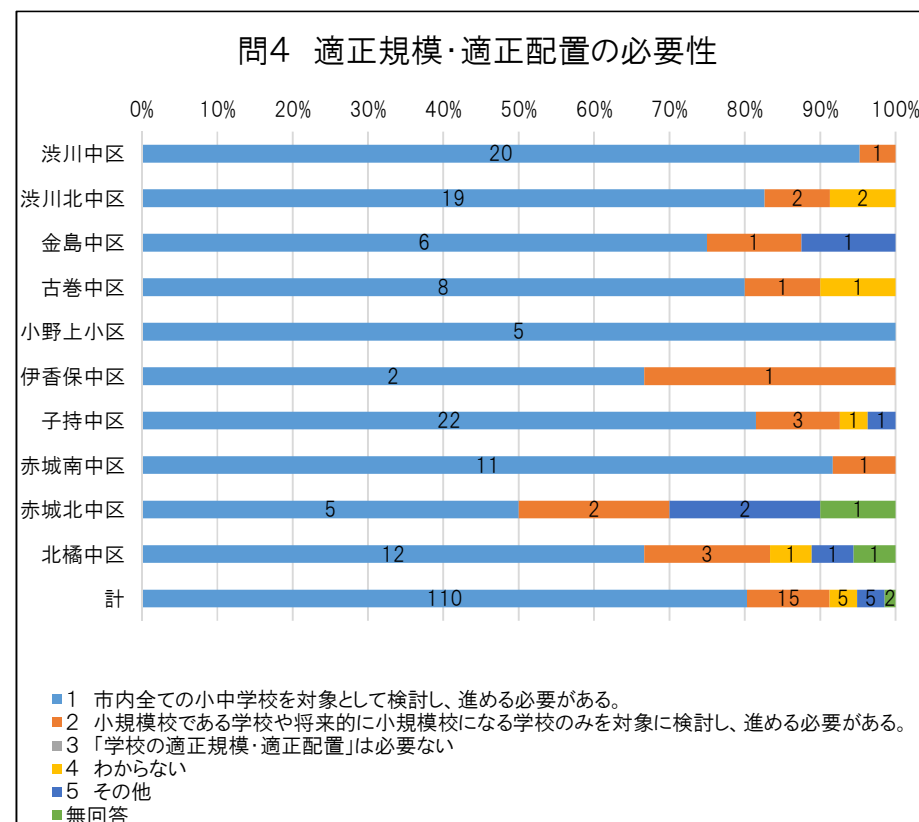
◆問3：同居する家族について教えてください【当てはまるもの全てを選択】

区分	回答	構成比
未就学児のみ	3	2.2%
未就学児+小学生	2	1.5%
小学生のみ	12	8.8%
小学生+中学生	7	5.1%
小学生+高校生	3	2.2%
小学生+中学生+高校生	1	0.7%
中学生のみ	6	4.4%
中学生+高校生	3	2.2%
高校生のみ	9	6.6%
あてはまるものはない	91	66.4%
計	137	100.0%



◆問4：「学校の適正規模・適正配置」は必要だと思いますか【1つを選択】

区分	渋川中区	渋川北中区	金島中区	古巻中区	小野上小区	伊香保中区	子持中区	赤城南中区	赤城北中区	北橋中区	計
1 市内全ての小中学校を対象として検討し、進める必要がある。	20	19	6	8	5	2	22	11	5	12	110
2 小規模校である学校や将来的に小規模校になる学校のみを対象に検討し、進める必要がある。	1	2	1	1		1	3	1	2	3	15
3 「学校の適正規模・適正配置」は必要ない											
4 わからない		2		1			1			1	5
5 その他			1				1		2	1	5
無回答									1	1	2
計	21	23	8	10	5	3	27	12	10	18	137

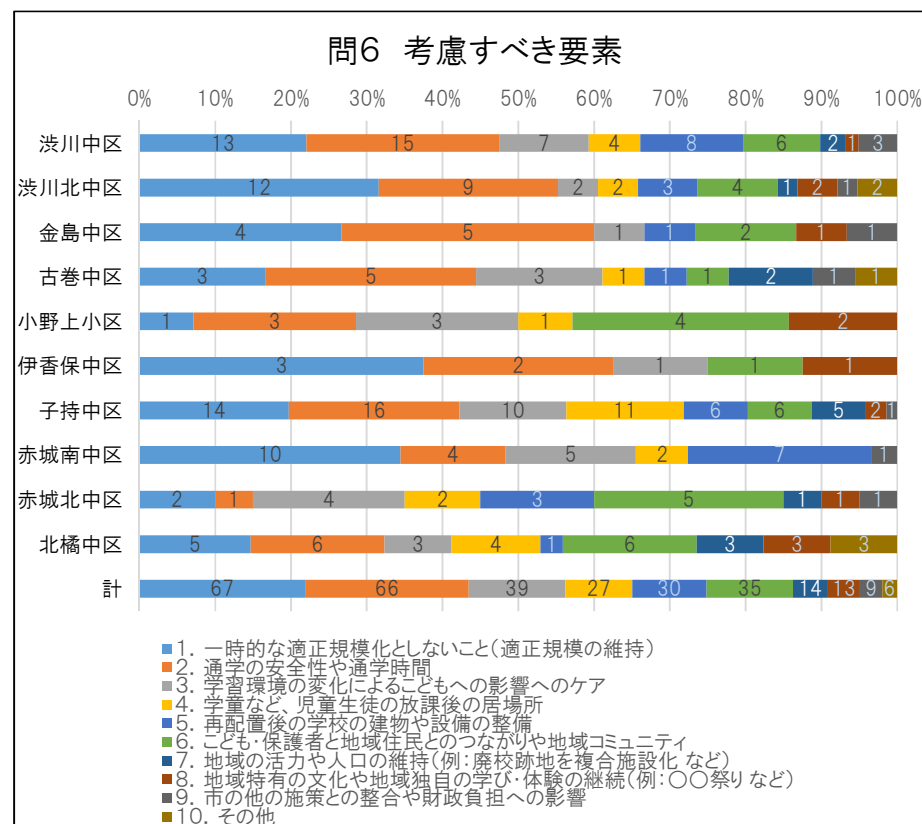


◆問5：問4の回答の理由を教えてください【回答を記述】（抜粋）

番号	選択肢	主な理由
1	全市的に推進する必要がある	・ 子育て世代が通わせたいと思う、これからの学校づくりを渋川市として行う必要があるから。 ・ 少子化の現状を考えると、どの小中学校も子ども減少は避けられない。一部地域だけで検討するだけでは、無理がある。将来にわたって、子ども達が必要な教育が受けられるよう、市全体で検討する必要があると思う。 ・ 少人数化に伴う対応として、将来を見据えて、一部でなく市全体を見て検討すべきだと思うため。
2	小規模校等を対象に進める必要がある	・ 問題は少子化なので、該当しない学校は対象外と考える。 ・ 全体を一律に行う労力や現状で大丈夫な場所に関しては、通学の問題もあるので、まずは小規模から取り組む方が効率的ではないか。 ・ 学校の改修等の費用が莫大となるので、無理な広域の統廃合は必要ないと思われる。 ・ 小規模校を一定の水準のものにしてほしい。
3	進める必要はない	回答なし
4	わからない	・ 小規模校ならではの良さもあると思うので、その点を維持させながら進めて行くことがいいのではないか。 ・ 将来的には必要なのは分かりますが、現状「自分の子」には関係ないのでは、という気持ちがある。R18～「自分の子」は何歳だろう？など気持ちの面でうーん・・・と。いう思いがある。老いていく我々より、この先の子育て世代にももっと伝えるべきでは？ ・ 現状の統廃合は、市の都市計画を基に、プラン・投資等の検討が必要となる。
5	その他	・ 規模や配置の「適正」の判断は、設置者が地域の実情、市の今後を勘案して決めるべきものであると考えるため ・ 地域から学校が無くなるのは、地域がさびれる可能性が高い。 ・ 必要だとは思いますが、不登校児童・生徒への対応はどうするのか。また、学校だけの問題で終わらないと思う。 ・ 適正配置を進める必要性もある一方で、子どもの変化による負担を少なくしてあげた方が良いのではという気持ちもあるため。

◆問6：基本方針に基づいた学校の適正規模・適正配置の検討を進めるに当たり、より考慮した方が良い（より配慮した方が良い）と思うものを選んでください。【3つまでを選択】 ※問4で1、2又は5を回答した者

区分	渋川 中区	渋川 北中区	金島 中区	古巻 中区	小野 上小区	伊香 保中区	子持 中区	赤城 南中区	赤城 北中区	北橋 中区	計
1. 一時的な適正規模化としないこと（適正規模の維持）	13	12	4	3	1	3	14	10	2	5	67
2. 通学の安全性や通学時間	15	9	5	5	3	2	16	4	1	6	66
3. 学習環境の変化による子どもへの影響へのケア	7	2	1	3	3	1	10	5	4	3	39
4. 学童など、児童生徒の放課後の居場所	4	2		1	1		11	2	2	4	27
5. 再配置後の学校の建物や設備の整備	8	3	1	1			6	7	3	1	30
6. こども・保護者と地域住民とのつながりや地域コミュニティ	6	4	2	1	4	1	6		5	6	35
7. 地域の活力や人口の維持（例：廃校跡地を複合施設化 など）	2	1		2			5		1	3	14
8. 地域特有の文化や地域独自の学び・体験の継続（例：〇〇祭り など）	1	2	1		2	1	2		1	3	13
9. 市の他の施策との整合や財政負担への影響	3	1	1	1			1	1	1		9
10. その他		2		1						3	6
計	59	38	15	18	14	8	71	29	20	34	306

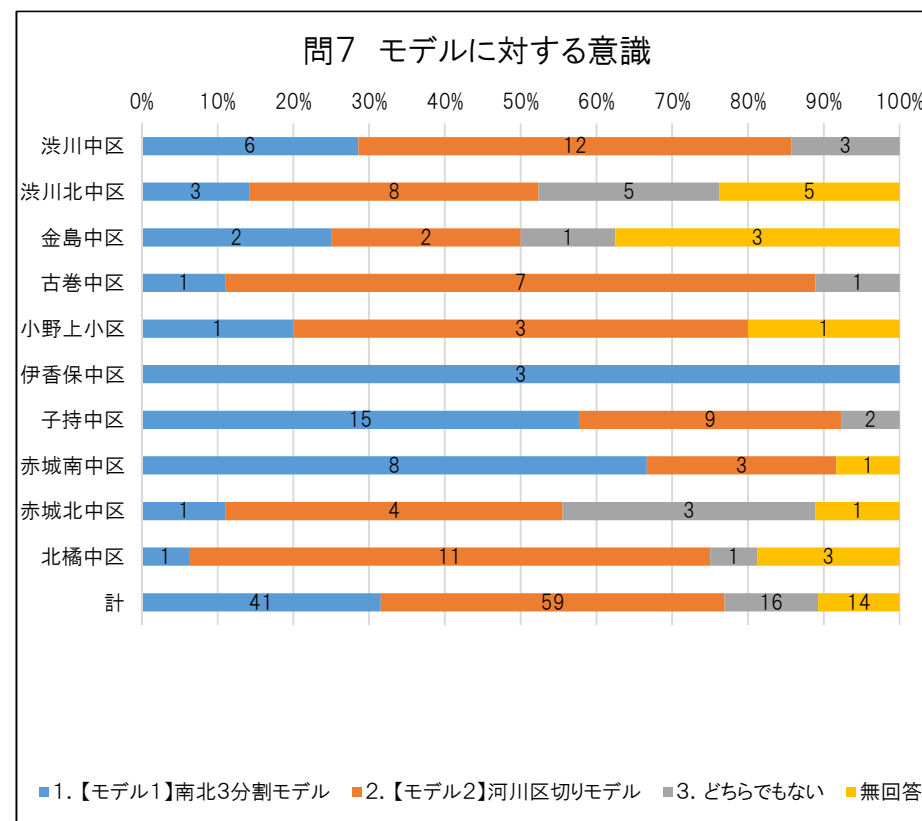


◆問6補足：10. その他の内容（抜粋・要約）

- ✓地区のお祭り(伊香保まつり、山車祭り、小野上温泉祭り、橘ふるさと祭り等)
- ✓子育て世代にとって魅力的であること
- ✓金井東裏遺跡、ヒメギフチョウ、人形文化などの文化財保護
- ✓こどもたちの学習環境をより良くすること(人間関係含む)
- ✓住みやすいまちとすること
- ✓廃校跡地のコミュニティ施設化をし、地域住民が利用できること
- ✓選択肢の全てが重要である
- ✓小規模で発生する経験機会の差をなくし、どの学校でも同じような経験・体験ができること 等

◆問7：学校の適正規模・適正配置の方策としてご自身の考え方に近いものを選んでください。
【1つを選択】 ※問4で1、2又は5を回答した者

区分	渋川中区	渋川北中区	金島中区	古巻中区	小野上小区	伊香保中区	子持中区	赤城南中区	赤城北中区	北橋中区	計
1【モデル1】南北3分割モデル	6	3	2	1	1	3	15	8	1	1	41
2【モデル2】河川区切りモデル	12	8	2	7	3		9	3	4	11	59
3 どちらでもない	3	5	1	1			2		3	1	16
無回答		5	3		1			1	1	3	14
計	21	21	8	9	5	3	26	12	9	16	130



◆問8：問7の回答の理由を教えてください【回答を記述】（抜粋）

番号	選択肢	主な理由
1	【モデル1】南北3分割モデル	- 合併後の渋川市として検討を進めるには、旧行政区を意識しない方がよい。長期的に維持できる配置とすべき。 - 先を見通した統合が望ましい。学校単位で、色々な行事ができるようになったら良い。 - 市の一体感が得られる。 - 長期で見れば、南北3分割が良いのだと思う。または、義務教育学校新設案も良いと思う。 - せっかく統合しても適正規模が維持できなければ意味が無いので、効果の持続性を配慮すべき。 - 南北3分割モデルが望ましくはあるが、保護者や地域コミュニティや地域住民とのつながりを十分配慮して進められたい。 - 地域が分割されることは、色々思うところがあるのかと思うが、そこは継続しつつ、学校の適正規模を配置する必要があるか。 - 通学バスの路線の設定がしやすいのではないかと。将来的に進学を考えると、駅や、市の中心に向かう通学設定の方が良いと思う。
2	【モデル2】河川区切りモデル	- 渋川市の地勢的な理由から、モデル1は不便が多いと思われる。学校は児童・生徒を安全に自宅へ帰す必要があるので、モデル2をベースに考えるのが適当であるとする。 - 地域の伝統・文化等を生かした魅力ある学校づくりを目指したい。 - もともとの行政区や文化を踏まえると適切である。 - これまでの成り立ちは配慮したいと思う。 - 児童数を考えるとモデル1だが、歴史や地域の方とのつながり等を考えるとモデル2である。 - 地域の学校という認識を考えるとモデル2の方が良い。災害時を考えても、河川をまたがないところに学校があった方が、拠点となり易いのではないかと（長期的に見ると廃校になった学校を災害時の避難所として保っていくのは難しいと思う）。
3	どちらでもない	- 旧町村には、必ず小学校を1校必要と思われる。まちづくり、まちの維持のため。 - どれもメリット・デメリットはあると思うので、各地区の方の意見をアンケートなどして、取り入れた計画を進めていただきたい。 - 渋川西小、渋川北中のプランが選択が少ない？金島小は人口増につながらない。渋川北小は借地・古い。豊秋小より南小の方が新しいのでは。 - 適正規模・配置を決めていくのは大変だと思いますが、子ども達が主役ですので、子どもにとってベストなモデルをお願いしたい。 - 人の成長の中で幼児期・児童期の体験は重要と思う。教育の基本方針に「豊かな人間性を育む」とありますが、豊かな人間性は児童期に育つと思うと小学校は小規模でも残して欲しい。 20年、30年先の適正規模を見据えて、もっと小・中学校数を減らしても良いのでは。その分、教育特区案も考慮していてもよいのではないかと。 - どちらでもないというよりは2つのモデルを基に更に良い案ができればと考えている。

◆問9：その他にご意見などがあれば記入してください【自由記述】（抜粋・要約）

分類	主な意見
規模・配置に関すること	・【モデル1】は、橘小と橘北小が異なる中学生に進学することになるので、大反対である。北橘町が分断される統合には反対する。 ・どのモデルにせよ小学校区を分割して友達と別れるのは避けて欲しい。どこどこが統合するかにもよるが、どここの場所にするかは重要である。 ・地域の意見を聞くとモデル2の希望が多いと思う。統合した後の校舎等の利用が危惧される。子どもが安心・安全に過ごせる環境を期待する。 ・なるべく多くの小学校を残してほしい。学校は地域の核となる。住みたい地域になるため。 ・一番は子ども達の通学への負担が大きくなりすぎない事だと思う。人口分布の変動も考慮して欲しい。
子育て世代や市民等の参画に関すること	・もっと市民の意見を取り入れてほしい。役員をやっていないと参加しづらい。子育て世代にアンケートをとるなどして欲しい。 ・住みたいと思って(渋川市)に帰って来た人が後悔しています。子育て世代の意見を大切にして欲しい。OBの方の意見ではなくて、今現在子育てをしている世代の意見をもっと聞いて欲しい。発言の場を作って欲しい。第一に子どもの成長、健全育成を考えて欲しい。 ・大きい問題・課題であるが参加者がとても少ない。今後、一般の人、保護者が参加できるような時間(夕方)に懇談会を実施する必要がある。 ・今後、統合していく中で、統合される学校近隣のクラブは閉鎖となるのか、現状の場所で継続していくのか検討する必要があります。学童保育対象の意見交換会を開催して欲しい。
教育環境の質と安全配慮に関すること	・教育に携わる者としては、どのような規模・配置であろうとも、児童生徒に充実した教育環境を提供したい。 ・規模が大きくなるにつれて、不安は大きくなる(いじめ問題がとくに！)。子どもが生活していく場なので、大人の目が届く学校の適正を求める。 ・時間が長くなる通学時の安全をどのように守るか。交通安全会と役割を見直しをする。学校の選択。学童の安全と居場所の確保が必要と考える。 ・伊香保・小野上小は小規模特認校に指定されているかと思うが、小規模(少人数制)により、きめ細やかに対応できていることの重要性や意義を踏まえて、統合を進めて欲しい。
統廃合後の施設利活用に関すること	・適正配置後、必要なくなった場所はどうに使われていくのか。 ・10年後は1万人減るのである。いずれ渋高と渋女も統合されると思うので、その土地の活用についても考えて行けるとよいのではないかな。 ・廃校後の活用を検討してほしい。義務教育学校になるとすると、公民館を学校内で出張所を設置し、子どもの居場所や放課後の文化活動の拠点にするようにする。
適正規模・適正配置全般に関すること	・総合計画などと整合を図って進めてもらいたい。現状は理解した。今後(20～40年先)を考え計画をする必要があると思う。 ・統廃合の考え方がしっかりしている適正規模・配置を進めて欲しい。歴史的な背景を考慮するとなかなか進まないと思うが、一番はこれから子ども達のことを考えての施策になることを願っている。